



# さわらの郷通信

## ご挨拶

皆さんこんにちは。

今月は、かまどの完成をはじめ、タケノコ山の整備、柚子の出荷、シイタケの冷凍試験など、さまざまな取り組みを行いました。

来年のタケノコゆでに向けた、かまど整備による増産体制づくりです。三釜体制から四釜体制へ拡充することで、収穫最盛期にも安定してタケノコをゆで上げられる環境を整えました。作業効率の向上と、鮮度・品質の維持を目指しています。

あわせて、タケノコ山の整備にも取り組みました。間伐で出た竹は焼却せず、竹チップとして活用し、土に還しています。土壌改良に加え、二酸化炭素を土中に閉じ込める効果も期待できる取り組みです。

タケノコの増産と山の循環利用を両立させながら、持続可能な里山づくりを進めていきます。来年のタケノコシーズンに向け、今後も準備を重ねていきたいと思ひます。



## ◆ しいたけが育っています

かまどの整備やタケノコ山の手入れを進める中で、里山は少しずつ次の季節へと準備を進めています。

間伐した竹がチップとなり土へ還っていく様子を眺めながら、自然の循環の中で作業ができることのありがたさを改めて感じる日々です。

来年のタケノコの季節を思い描きながら、これから迎える冬も、里山と向き合い、静かな時間を大切に過ごしていきたいと思ひます。



では、今回はこの辺で。

本格的な寒さが続く季節となりました。

年の瀬を迎え、ご多忙のことと存じますが、

皆さまどうぞご自愛ください。

